

まえがき

17年前、私ははじめてお母さんになりました。

最初に息子が生まれて、そのあと2人の娘が生まれました。

3人の子どもたちとともにすごした新米母ちゃんだった私の激動の17年。

たくさん笑って、たくさん怒って、たくさん泣いた、ジェットコースターのような17年。

それは、私にとって修行のような17年でもありません。

待ったなし！ 体当たりの真っ向勝負をくり返した毎日でした。

子どもたちと向き合うことで、自分の中の弱さや未熟さが目の前に突きつけられました。

理想と現実のギャップに苦しみがく自分がありました。

この本はそんな「子育て道場」での私の学びと成長の記録です。

最初に、子どもたちとの数々の思い出の中で特に記憶に残っている、もがき苦しんだ出来事、衝撃的だった出来事、私の人生を変えた出来事を選びました。

次に、それぞれの出来事が起こったとき、子どもたちとどんなやりとりをしたのか、私自身の中でどんな感情や思考が生まれたのか、記憶をたどりながらつづりました。

そして、そこでどんな気づきがあったのか、その結果私にどんな変化があったのかをふり返りました。

本当は人に知られたくない、隠しておきたい私がたくさんいました。情けなくてみっともない私がたくさんいました。

この本を書きながら、今まで目をそらし見ないふりをしてきたそんな私と真正面から向き合いました。

自分と向き合う作業には、少なからぬ苦しさをともないましたが、一方で多くの気

づきが生まれ、深い癒やしと感動を味わいました。

そして確信したことは、「起こることにはすべて意味がある」ということ。

そのときはつらく、一見ネガティブに感じられる出来事も、あとになってふり返ってみれば、私の人生をより幸せにラクにしてくれるきっかけを与えてくれたことに気づきます。一つひとつの出来事がキラキラと光を放ち、まるで宝物のように大切に感じられるのです。

そんな私の宝物をシェアします。

あなたはどんな宝物を持っていますか？

今、目の前に、どんな宝物があるのでしょうか？

この本が、あなたの宝物に気づくヒントになったなら嬉しいです。